

ドクターインタビュー

産婦人科ならではの、
プラセンタとの絆

医療法人社団 美友会

産科・婦人科 松本クリニック
医 長 大西用子

〒600-8452 京都府京都市下京区西洞院通松原下永倉町 558 番地
TEL : 075-341-4103
http://www.maia-matsumoto.com/
阪急京都線「烏丸駅」から西洞院松原方向へ徒歩 15 分


【経歴】
昭和61年3月 川崎医科大学卒業
昭和61年4月 京都府立医科大学産科婦人科教室入局
昭和61年6月 済生会京都府病院勤務
平成 1年4月 公立南丹病院勤務
平成 1年9月 産科・婦人科松本クリニック勤務 医長
平成19年4月 京都産婦人科医会 理事

京都の「産科・婦人科 松本クリニック」の大西医長にお話を伺いました。

UTP 社長角谷(以下 角谷) : 本日は、貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。まずは、先生が医師を目指された、きっかけをお聞かせください。

医長 大西用子先生(以下大西) : 実家が産婦人科をしております、医科としては 4 代目の家系です。両親も産婦人科医で、自然に医者を目指しました。大変な仕事だと言うことは、医者になってから気づきました。

角谷 : 産婦人科ということは、プラセンタは身近な存在だったのでしょうか。

大西 : 実は偶然、知りました。



社長角谷と大西医長

親しい内科の女医さんが肝炎の治療にプラセンタを使用していると聞き、それがプラセンタとの出会いでした。意外に思われるかもしれませんが…、“プラセンタって胎盤??”と。そのぐらいの知識でした。産婦人科ですから胎盤は当たり前のようにいつも見ているのに、プラセンタは内科の先生から教わりました。

そこから、たくさんの資料を送って頂き勉強、プラセンタは更年期の治療に効果的とのことで、そこから導入しました。あれからもう 20 年くらいになりますね。

UTP 家田(以下家田) : 先生は現在、プラセンタを幅広く(注射・サプリメント・ドリンクなど)ご活用頂いておりますね。患者様には、どのようにお勧めされているのでしょうか?

大西 : 当医院では、更年期障害の治療に、保険適用となるメルスモン注射を使用しています。サプリメントとドリンクは、定期的に来

院することが難しい方にお勧めしています。

UTP 田坂(以下田坂) : サプリメントをお勧めする場合、患者様の反応はいかがですか?

大西 : やはり多くの皆様が『プラセンタ注射はスゴく効く』と実感されているようです。しかし注射の利点はわかっている、注射の痛みが苦手な方や、通院時間がないという方が多いのも事実です。そのような方にプラセンタサプリメントをお勧めしています。これならば、通院時間が必要なく、遠方の場合は交通費の節約にもなります。

最初はプラセンタサプリメントはお値段が高いというイメージをお持ちですが、ご愛用頂いている多くの皆様は『トータルで考えると、決して高くはない』とおっしゃいます。また最近では“VX30 サプリドリンク”のご愛用者様がえています。


VX30 サプリドリンク (30mL×10 本入り)
10,000 円 (税別)

家田 : “VX30 サプリドリンク”と言えば、大西先生はこの開発に尽力した

京都大学^{みばやし}の三林教授*ご親戚にあたるそうですね。

大西 : 三林先生は、父方の親戚になります。プラセンタの研究をしていたと聞いて、とてもびっくりしました!そして、うれしかったです。三林先生は、私がまだ医学生の頃に当医院で執刀されており、経歴通りの婦人科手術のスペシャリストというイメージでした。

昔は、日本でも健康のために胎盤を食べた頃があると聞いたことがあります。あのような見た目ですから食べるには、よほどの勇気が必要ですよ…。今は、三林先生の研究のおかげで手軽なサプリで摂取できるので、本当に感謝しています。

家田 : おっしゃる通りですね。私は実際に、妻の出産に立ち会って胎盤を見ました。神秘的な臓器ですが、見た目はなかなかのものですね…。

大西 : それは勉強熱心ですね(笑) 胎盤は、赤ちゃんをカラダの中で育ててくれた大切な臓器です。できるだけ産後のお母さんに見て頂くようにしています。皆様ご覧になると大変興味をお持ちになります。

角谷 : 大西先生は、日本生物製剤様にプラセンタ注射の原料となる胎盤を

提供されているとお聞きました。気を付けている点などをお聞かせください。

大西 : 日本生物製剤様は、血液検査や衛生面、安全性など大変しっかりした対応で、安心して胎盤を提供させて頂いております。その分、私たち提供するクリニック側に求められるものも大きいですが、胎盤という素晴らしい臓器を治療に役立てて頂けるのなら本望です。胎盤を提供して頂く皆様には、出産前からプラセンタについてお話しています。『妊娠中しか存在しない胎盤は、注射薬の原料になって大勢の悩んでいる方の助けになる』ことをお話しすると、皆様『ぜひ活用してください。』とおっしゃいます。

プラセンタは、いろいろな分野で治療に活用されています。患者様のためにも、保険適用になる項目や、保険適用になるアンプル数が増えれば良いと思います。



左から 営業田坂、大西医長、担当家田

角谷・家田・田坂 : 本日はありがとうございました。

コラム

プラセンタは更年期の治療以外にも意外な活躍!

一例として、ひどいアレルギー皮膚炎のお子様のお話で、治療の効果がなかなか出なかったそうです。そこで「プラセンタの抗炎症作用は、アトピーにも良いのではないか?」とご相談を受けました。プラセンタサプリをお勧めしたところ、症状がかなり改善されたとのこと。このように、私からお勧めするわけではなくても、患者様の方か

ら、プラセンタに期待し「家族のこんな症状にどうだろうか?」とご質問を頂くことが多いです。日々プラセンタへの期待の大きさと素晴らしい効果を実感しています。今後は、皆様にもっとプラセンタを知って、幅広く活用して頂けるように、どのような症状に効果があつたなどと、症例をまとめた物があればいいと思います。

※三林 隆吉

昭和期の産婦人科学者 京都大学名誉教授。子宮がんの放射線治療に回転照射術を考案。戦時中、まだ知られていない胎盤の作用に着目し研究を重ね、戦後プラセンタ配合一般用医薬品「ビタエックス 30」製品化に繋がる。なお、“VX30 サプリドリンク”は、この「ビタエックス 30」の処方をもとに開発されたプラセンタサプリドリンクである。



編集後記

とてもお忙しい大西先生は、当日も走ってきてくださいました。それでも走りながら髪を整える、女性らしい一面とお話しの途中の親しみやすい笑顔がとても魅力的な先生でした。先生曰く、プラセンタのおかげで仕事で寝不足が続いた時も、疲れにくく回復が早いとのこと、化粧のノリはバツグンとステキな笑顔で太鼓判を頂きました。

